

2023年07月23日

## 「資格不十分、ただ恵みによって」

自分に神の国に入る資格がないことが分かれば、御国に入る資格を得ることができ、資格があると思えば、かえって資格を失うこととなります。御国に入る唯一の道は、自分には恵みが必要だということを知ることです。

昔のギリシア人たちは、自分たちの気質をよく把握して、節制するようにと教えました。ローマ人たちは、生活を正して強くなるようにと教えました。仏教では、意識をなくして幻想から目覚めるようにと教えます。イスラム教では、自分の意志を捨てて服従するようにと教え、道徳主義は、義務を果たして善を行うようにと教えます。

しかし、福音は、私たち自身の失敗を認めて自由を得るようにと教えます。自分の行為を前面に出すのではなく、自分の足りなさを認めよということです。私たちの心の中にある道徳的な優越感や、自分の良い点についての傲慢な考え、そして、自分はイエス様に従うためにすべてのことから離れたという自負心や、特別に選ばれて信仰に入ったという選民意識などは、神様の赦しと私たちの喜びが流れる心の中の通り管を塞いでしまいます。主の御前では、どんな道徳的な成果を誇る人も、降参するしかありません。実は自分こそパリサイ人であることを認め、イエス様のほかに自分を救える方はいないということを謙虚に認めるとき、私たちは選民意識と道徳主義から解放されて光の中へと進んで行き、癒やしと回復の恵みを受けることができます。

リビングライフ・コラムより

# 週報

## § 今年の教会テーマ 「恵みあふれる教会」

## § 今年の主題聖句

「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2  
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード  
鈴鹿キリスト福音教会  
059-383-5145(教会)  
080-3706-8433(牧師)

今週の礼拝メッセージ 「主にあって誇る」

聖書箇所 II コリント人への手紙 10：7～18

コリントの教会はパウロのうわべだけを見て、判断しました。彼らは自分の権威をふるっていました。私たちはこの箇所から、神様の権威と私たちが誇れるものを学びたいと思います。

1. 正しく人を評価する

私たちは、うわべで人を評価してしまう弱さを持っています。うわべで人を評価してしまうと、その人の本当の姿を見失ってしまいます

2. 正しく権威を用いる

8節 「あなたがたを倒すためにではなく、建てるために、主が私たちに与えてくださった権威について、...」  
○成熟したリーダーと未熟なリーダー

3. 主に推薦される人になる

18節 「自分自身を推薦する人ではなく、主に推薦される人こそ本物です。」  
私たちは、いつも何かをする時に、人の目ではなく、主の目を意識することが大切です。

【報 告】

- ※ 7月30日(日)の礼拝後には「ランチ交わり会」があります。
- ※ アロンミニストリー(礼拝前の祈り会)が再開されました。  
毎週 9:30～10:00

【メモ】